

# 経営比較分析表

佐賀県 江北町

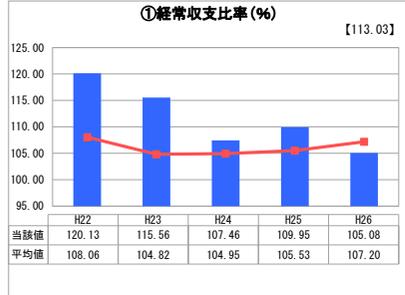
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A8
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	94.66	99.90	5,180

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,728	24.49	397.22
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,690	24.48	395.83

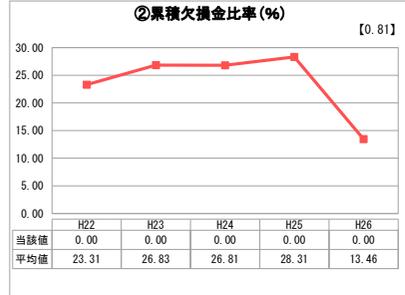
## グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

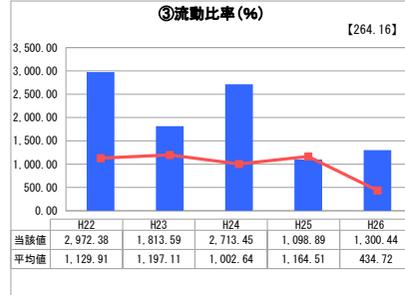
## 1. 経営の健全性・効率性



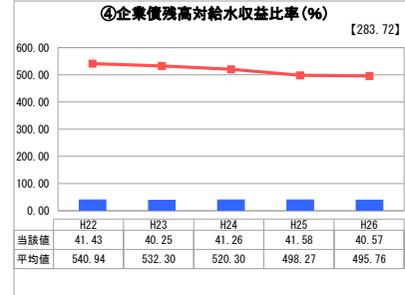
「経常損益」



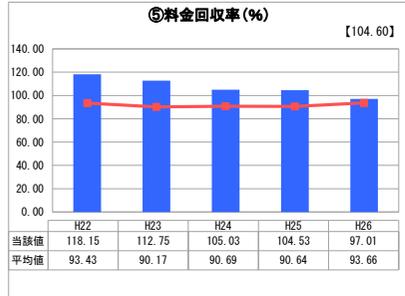
「累積欠損」



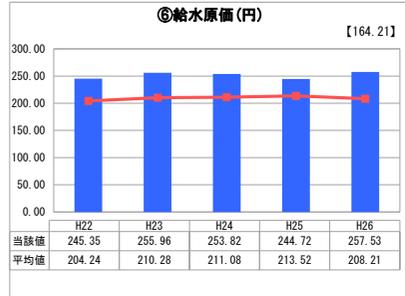
「支払能力」



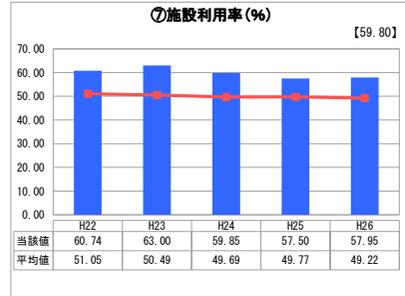
「債務残高」



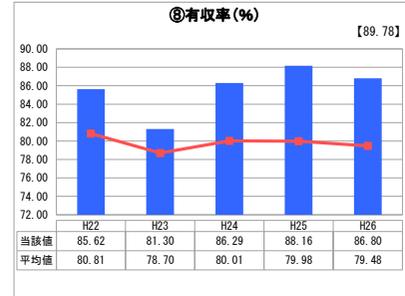
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

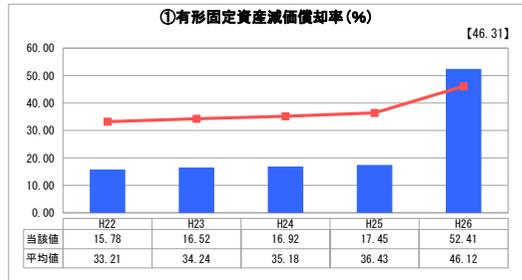


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

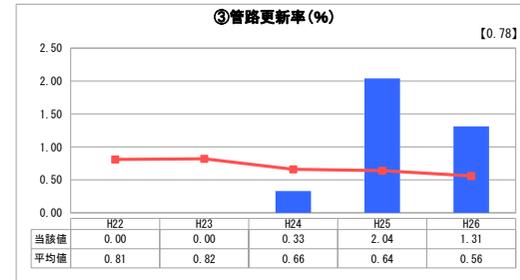
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率については、100%以上を維持しているが、更新財源を十分確保できる状況には至っていない。また、近年、料金収入が減少傾向にあり、平成26年度からは料金回収率が100%を下回ったため、料金収入の増加に努める。

### 2. 老朽化の状況について

管路については、町内全域を下水道事業に合わせて更新してきたため、管路の更新率は類似団体比で若干高い数値を示している。しかし、配水池など基幹施設の更新を先送りしてきているため、今後、大規模な更新費用が必要になる。また、有収率も改善する必要があるため、緊急性がある管路についても更新が必要である。

### 全体総括

現在の課題としては、更新需要に見合う財源の確保ができていないことや料金収入が減少傾向にあることがあげられる。今後、料金収入の増加、経常費用の見直しなどを図り、アセットマネジメントを踏まえた更新計画を策定し、適正な更新需要を把握するとともに、必要な財源を確保し、経営の健全性を維持していく。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。